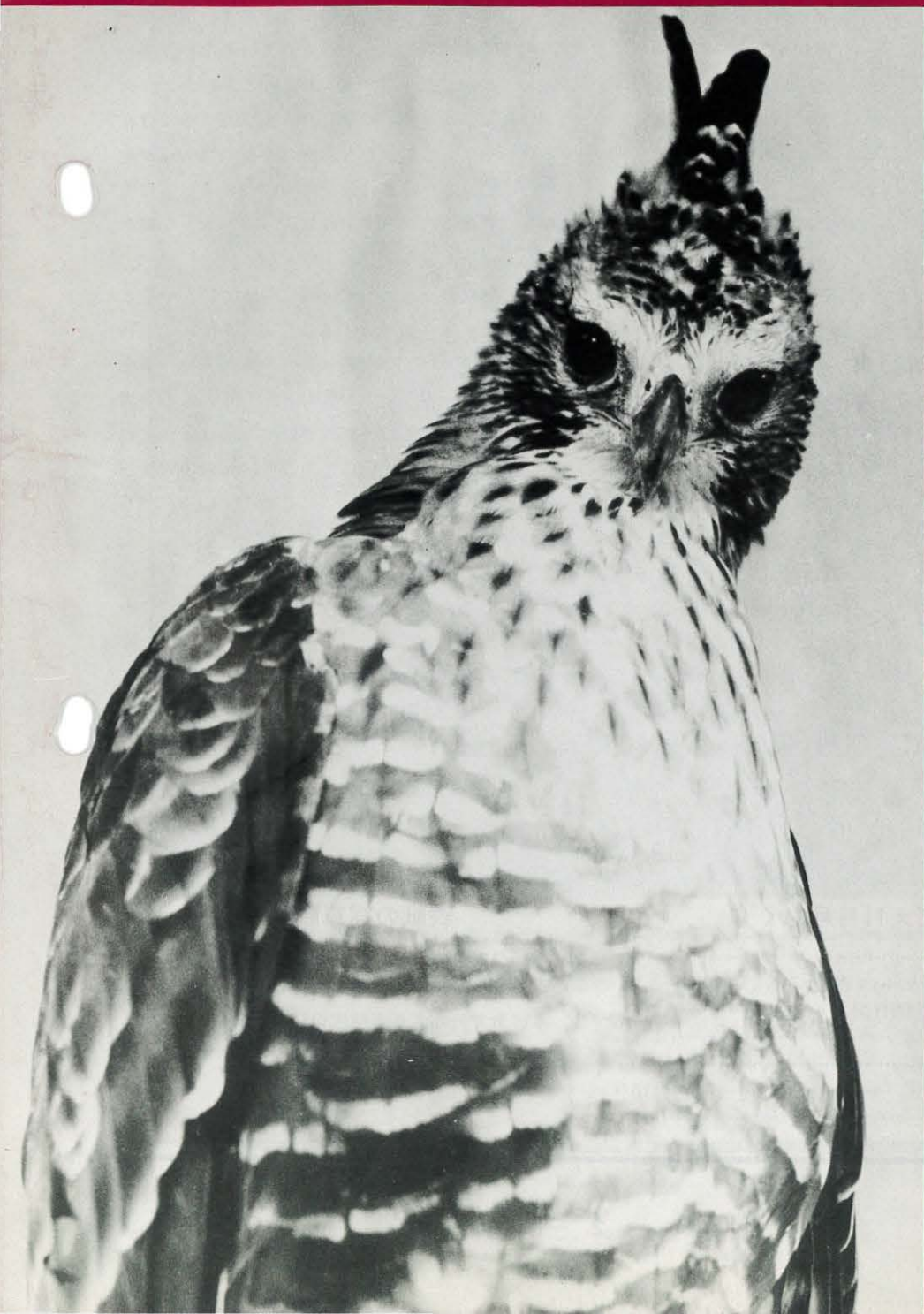


なきごえ

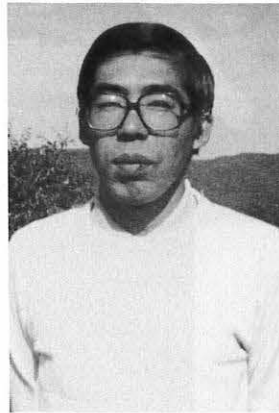


1981

11

大 阪 市
天王寺動物園協会

私の桃ヶ池自然観察



岸本 満雄

私が勤務する大阪市立阿倍野青年センターは、阿倍野区の東部にある桃ヶ池のほとりに建っています。この地の利を生かして、桃ヶ池の自然観察を主な内容とした身近な自然教室、を今年の夏休みに開催しました。

野外での活動を中心としたこのような事業は、当センターとしては初めての試みであり、担当職員である私は色々な不安を持っていたのですが、講師を引き受けて下さった大阪自然環境保全協会の先生方の熱心なご指導とご協力のおかげで、大変楽しく有意義な教室とすることができました。

この自然教室には約50名の小中学生が参加し、魚班・植物班・水温班などの8つの班に別れて桃ヶ池の自然観察に取り組みました。魚や昆虫を追いかけ、恐る恐る池の水をなめてみる子、菱を引き上げてその長さに驚く子、水温計を釣り竿につけて水温を計る子、子ども達は全員が生き生きと桃ヶ池の自然に挑戦し、日頃めったにする事が出来ない経験をつみ重ねる中で、色々な「自然の秘密」を発見していきました。私も職員としてこの教室にかかわる一方で子ども達といっしょに自然観察に参加し、その中で今まで気付かなかった多くの事を学び、新鮮な感動を味わうことが出来ました。

感動した事の一つは、桃ヶ池という閉された池の中にさえ、生物達の体系づけられた一つの世界が築きあげられているという事です。子ども達は魚・植物・水温といった班に分れ、自分が対象とする物の観察を行っていったのですが、その中で地形(水深)と植物の分布には関連がありそうだとか、植物の分布と魚や昆虫の分布には関連がありそうとかいう事を見つけ出しました。この事—色々な自然物が一つの有機的な関連をもって存在しているという事—は言わば当たり前の事かもしれませんが、しかし、大阪という大都市の中、密集した人家に囲まれて存在する桃ヶ池にもこのような自然の有機的な関連が生きているという事は、子ども達といっしょにその片鱗に触れたにすぎない私にとっても大きな驚きでした。

今回の自然教室を通して、私は今までぼんやりと眺めていたにすぎない桃ヶ池にも実に多種の生物達が互いに係わり合いを持ちながら生きている事を実感として知る事が出来ました。そして、この事実をもっともっと多くの子ども達に知ってほしいと思うとともに、大都会の中にあるこの桃ヶ池の自然が人間の手によって破壊されることなく、いつまでも大切に保たれてほしいと願わずにいられません。

今、秋を迎えた桃ヶ池は静けさを取りもどしています。子ども達のにぎやかな声はなく、草むらで鳴く虫の音が聞えてきます。岸边をじっとのぞきこんでも、あの真夏の日群っていた小魚達の姿はありません。しかし、この池の中では、今もたくさんの生物達が冬を過ごし、春を迎えるための営みを黙々と続けているにちがいないのです。

(大阪市教育委員会：社会教育主事)

なきごえ11月号もくじ

動物と私	2
“すくすく育つブラックバックの赤ちゃん”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
天王寺の動物たち ⑩	6・7
獣医室から ⑨	8・9
北米通信員だより ⑨	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“クマタカ”

スリランカから南インド、ヒマラヤを経て日本にまで分布する森林性の猛禽です。表紙のクマタカは頭に冠羽があり、とても精かんな顔つきをしています。

(撮影：農本 武志)



“すくすく育つブラックバックの赤ちゃん”

8月25日、29日とブラックバックが各1頭誕生しましたが、その後の成長経過は順調です。今年は1月にメス1頭、2月にオス1頭と誕生しており、繁殖は良好です。

(撮影：樽本 勲)

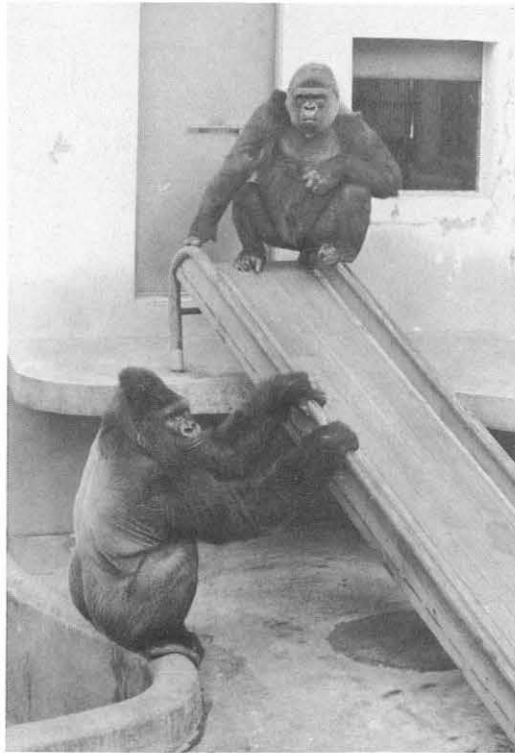
動物園グラフ

“アフリカの動物たち”

① 哺乳類

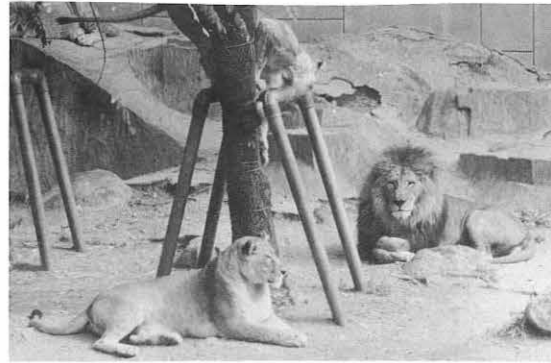
野生の王国といえばアフリカ。変化に富んだ環境に大型霊長類、大型草食獣、そして大型肉食獣と様々な動物たちが生活しています。今月は当園で飼育しているアフリカの哺乳類の一部を紹介します。

(撮影：榊原 安昭)



① ローランドゴリラ

霊長類中で最大、大きな雄は体重 200kg をこえることもあります。西アフリカの森林に生息し、完全な菜食主義者です。



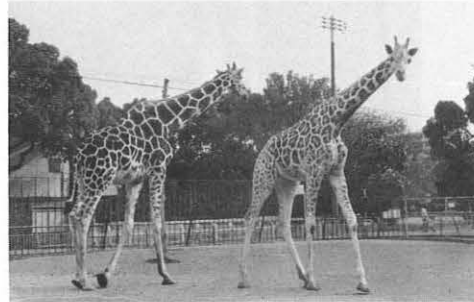
② ライオン

アフリカを代表する動物。それはなんといってもライオンです。サバンナにプライドという群を作り数頭の雄と5～6頭の雌で生活しています。



③ クロサイ

東アフリカに生息し、単独あるいは親子で生活しています。アフリカに住むもう1種のサイ、シロサイとは異なり、主に木の葉や枝などを食べています。



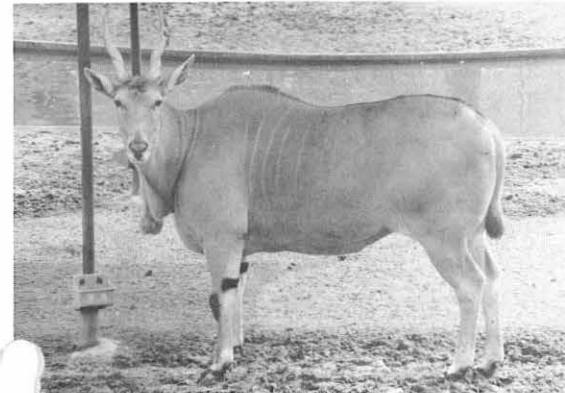
④ アミメキリン

ケニア北部からエチオピアに分布しており、身長は5m ぐらいになります。アカシアなどの高木の葉を主食としています。



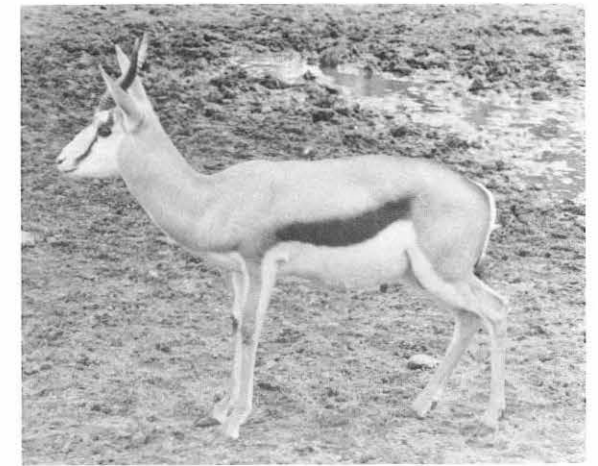
⑤ ベイサオリックス

東アフリカ北部のやぶ地や草原地帯に生活しています。細く長い角は、まっすぐにのび、まるでヤリのようなようです。



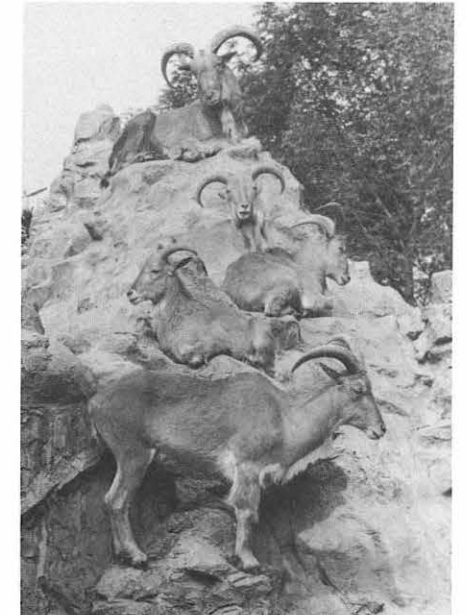
⑥ エランド

レイヨウ中最大で、体重は900kgにもなります。東アフリカから南アフリカに分布しています。南アフリカやソビエトでは家畜化が試みられています。



⑦ スプリングボック

南アフリカ西部の草原に生息しています。驚くと背の白毛をさかだて、飛びあがるような動作をするのでスプリングボックという名があります。



⑧ バーバリーシープ

北アフリカの山岳地帯に生息しています。ヒツジの仲間で3～6頭の群で、高い岩場を活発に動くジャンプ力を持っています。

9・10月の動物園日記

- 9 / 21. サンディエゴ動物園へ贈呈されるタンチョウのため、輸送準備が始まりました。
- 9 / 23. 動物総合感謝祭が園内で行なわれました。
- 9 / 24. ゴリラ運動場に設置される新しいスベリ台が完成し、近日中に古いものと交換されることになりました。
- 9 / 25. 第20回近畿動物園獣医師勉強会が当園でおこなわれました。タンチョウの1番が米国サンディエゴ動物園へ向けて搬出されました。この2羽は共

に当園で生まれたものです。

- 9 / 26. 翼を骨折したヨタカを1羽保護しました。ホッキョクグマが左後足を上げてびっこをひき歩行困難のようなので治療しました。
- 9 / 27. 2週間にわたり入院していたカナダヤマアラシがすっかり元気になり、小獣舎の展示部屋に帰ることになりました。
- 9 / 28. 定例飼育研究会がありました。
- 10 / 1. ボイラーの火入れ式が行なわれました。動物を代表して、ニホンザルの子の優美が、火入れました。
- 10 / 2. 走鳥舎にいる七面鳥が全羽、疱疹にかかっ

たので、隔離し治療を開始しました。

- 一時生死を危ぶまれた雌クロサイのサッチャンが、治療によりみるみる元気になったので本日で治療を打ち切ることになりました。
- 10 / 3. 衰弱著しいツルクイナを1羽保護しました。
- 10 / 10. ブラックバックの♀が、ハナジカによる角傷で死亡しました。
- 10 / 11. 本日より秋の動物園まつりが始まりました。
- 10 / 12. カモシカ園のハナジカ雄2頭の角を切りました。
- 10 / 13. マーラが結膜炎で歩様がおかしいので治療を開始しました。

ジェンツーペンギンが足の裏をケガし、びっこをひいてとても痛そうなので治療しました。痛いはずですが足裏の肉がべろりと出ていました。

- 10 / 14. コウノトリの雌1羽を王子動物園より借受しました。当園雄との間に2世の誕生するのが期待されます。
- 10 / 19. 小鳥の家のインコ舎の金網張り替えのためインコ全羽を移転させました。
- 10 / 20. オランウータンの雄ブルと雌サツキを交尾させるため、同居させました。

カバ②



ママとお散歩

§ キバ

カバの体重は 1.5～ 2.5トンもあります。高見山が7～12人です。力も大変強く、人間が金ヅチでたたいた位では凹みもしないような鉄板にキバで穴を空けた事もあるそうです。ですから以前は柵に古くなったレールを使っていた動物園もありました。

カバの武器はやはりキバです。普通、偶蹄目に属す動物には犬歯は欠落しているものですが、イノシシの仲間とこのカバでは犬歯が重要な武器となっています。今までの最高では64.5cmという長さが記録として残っています。こんなに

すごい武器ですが、水に潜ったりして身を守ることでできるカバではキバは外敵から身を守るためだけではなく、仲間同志の権力争いに使われることが多いそうです。

と、いっても本気でこんな武器でやり合うとお互いに傷ついて共



無題

倒れにもなりかねません。そこでオス同士向い合っ、お互いにアングリと大きく口を開けキバを見せ合います。そして「キミのは長い!!」と思った方がこれは負けたと引き退るといふワケです。こうして無駄に傷つけ合うことをさけています。昔の武士の「オヌシ出来るな!!」で結着が着いたのと似たようなことでしょうか。

§ 血汗

面白いことにカバは河の草はあまり食わず、主食は陸上の草です。あんな大きな体をしているとは言うもののやはり動きは鈍ですから昼間陸上にあがるのは少し危険です。で、食事は夜と決っています。暗くなる8時から9時頃河からあがり、明方4時頃まで夜食を楽しみます。日本のシカやニホンカモシカの食害問題同様、アフリカでもカバによる菜園荒しが所によっては問題になっているようです。1群れ10～20頭のカバ達があの体で夜中畑の上を歩き廻って野菜を食べたりしたら被害は甚大でしょう。

水に適応したカバは逆に地上は苦手です。皮膚が乾燥し、ヒビ割れなどができ易くなるからです。それを防ぐため陸上にあがると皮膚の所々からガマの油のようにピンク色のドロツとした液を出します。先々月号の写真で紹介したのですが、これは色のせいで「血汗」と呼ばれます。しかし、血が混じっているわけではなく、赤い色素が入っているだけで

す。この血汗で乾燥し易い皮膚を守ります。食事の際やお昼寝で陸にあがっている時、注意深く彼等の体を見るとすぐ判りますヨ。

§ 出産

クロサイは460日、インドゾウは600日以上、キリンは約 450日と体の大きな動物は概ね妊娠期間も長いものです。ところがこのカバはたったの240日です。ヒトの 280日よりもまだ短いのですから驚きです。

こんな短い日数でも産れる赤ん坊は体長が130cm、体重が50kgもあります。さすがはカバですネ。カバの出産は水中で行われると言われていましたが、実際は半分半分位だそうです。ただ地上での出産の際は正常な形で、つまり赤ん坊は頭から生まれますが、水中では後足から、つまり逆子で生まれるそうです。水中では頭から生まれてくると赤ん坊が溺死する恐れがあるためです。クジラやイルカなど必ず水中でお産が行われる動物の場合、赤ん坊は必ず逆子で生



こんな角度までひろがります。

まれますが、カバの場合はどちらでも行われる可能性があります。水中でする場合は逆子にし、陸上での場合は正常にお母さんがしているのでしょうか。それとも子が正常の場合は陸上で、逆子の場合は水中でと産み別けているのでしょうか。いずれにしても実に不思議です。

私も一度カバの地上での出産を観察したことがあります。

その日の朝、飼育担当者が「今カバが破水した!!」と動物病院にかけ込んで来ました。ソレツ、とかけつけると母親は水からあがってしきりに尾を振っています。と、仔の頭があらわれました。キリンのお産ならここからまだ1,2時間はかかります。ですがまるで練歯ミガキをチューブから押し出すようにニュルニュルと首、肩があらわれ、次の瞬間生れ落ちてしまったのです。破水から10数分、頭が見えてから1,2分でしょうか。大変な安産です。犬のお守りなんかより、カバのお守りの方がずっと効果がある

のではないのでしょうか。

この子は「大ちゃん」と名付けられ、今でも宝塚のファミリーランドで元気に飼われています。

§ 育児

親はグレイですが、生れたての赤ん坊はやはりピンクっぽい色をしています。そして丸々とした体つき、クルクルした大きな眼。カバの赤ん坊は赤ん坊のなかでも特に可愛らしいもののひとつです。

生れるとすぐ水に入り歩くよりも泳ぎと潜りを早く憶えます。というのはカバの哺乳は水中で行われるからです。鼻からうまく空気を吸い込んだ子カバは上手に潜って、母親の股間にあるオッパイを吸ってはあがり、また空気を吸って一休みし、また潜ってオッパイを吸うということを繰り返します。そして疲れると水際にあがって眠ります。その間母親は大変神経質に細やかに面倒を見ています。哺乳の時以外は赤ん坊は必ず母親の頭の周りにいます。大き



1日50kgの食欲です。

な体をしているのでそうしないと充分眼が行き届かないからでしょう。

こうして4～8ヶ月間哺乳が続きますが、野生では離乳がはじまって子カバが少し母カバから離れて行動し始めた頃がライオン、ヒョウ、ハイエナなどに最も襲れ易いそうです。

§ おわりに

現在天王寺には29年間も飼われている母カバのデブコ、22才の名古屋生れの父カバ、フトシ、それに9才のナツコと今年6月25日にうまれた赤ん坊、の4頭が飼われています。赤ん坊はまだ小さいので母親のナツコと2頭で室内のプールで飼われていますが、もうしばらくするとお目見えできると思います。またデブコはかなりのオバアサンになりましたが世界記録の50才まで、まだまだ長生きして欲しいものです。

(飼育課 獣医師：長瀬 健二郎)

こちら 動物119番!

動物相談 珍問・難問

天王寺動物園では動物に関するあらゆる相談——飼育方法、病気の治療法、習性、形態、寿命などいろいろな相談に電話でお答えしています。また電話以外にも手紙や直接来園されてたずねられる方もあり、その受付件数は年間1600件にも達します。電話による相談は平日の4時から4時半までの30分間だけで、6人の獣医師が交代で回答しています。電話での相談が主体だけに、直接自分の目で確認せずに相談者からの話だけで回答するため、時には非常に苦勞することもあります。例えば病気についての相談の場合、診察もしないで相談者の話だけを頼りに病気を推測し、治療法を指導するだけに、特徴のある病気ならいざしらず、なんとなく元気がないというような要領を得ないような内容では、時に何の病気か想像すらつかないこともあります。また、おもわず笑いたくなるような珍問や、頭をひねらせられるような難問、時にはどんな書物や資料をさがしても解らず、回答者がギブアップするような問題などいろいろあります。今回はこの動物相談の珍問・難問に対する回答者の苦勞話を紹介しましょう。

§ 青大将の不法侵入

4、5月頃によく受ける相談にヘビの退治方法の問い合わせがあります。この時期には今まで冬眠していたヘビが活動を始めるのでよく眼につくのか、植えこみや石の間などにいるヘビの撃退法を教えてくださいというものです。大阪市内にもかなりヘビがいるようですが、大半が青大将です。このような無毒のおとなしいヘビを、あえて撃退する人間の方がよほど怖い動物だと思ってしまうのですが、あの細長さ、冷たいウロコ、愛嬌のない眼……どれをとっても一般の人には恐怖感をだかせるものばかりです。その恐怖感が何もしないヘビを撃退するという一種の過剰防衛?に走らせるのでしょうか。

その電話相談がかかってきた時、その相談者がかなり緊張し何かに怯えているのが受話器を通して分かりました。庭で見かけた大きなヘビが家の中に入って来たらしい、どこにいるかわからないがどうしたら追い出せるかという内容でした。ヘビの習性について2、3分ほど話をしている真最中、突然ギアという悲鳴と共に、ヘビが私の方に向かって来るという絶叫を残して電話は切れました。その後、電話がかかって来ないのは心配なのですが……。



§ マムシが人を咬む理由

ヘビに関する相談の中で、わりとよく受ける相談に、マムシは口から子供を産むというのが本当かどうかという問いあわせがあります。ヘビには青大将やシマヘビのように卵を産むヘビと、マムシやアナコンダのように卵胎性といって体内で卵がふ化して子供を産むヘビとがあります。もちろん、子供を産むのは口からではなくて総排泄腔からです。しかし一般常識で考えても不思議なことなのに、なぜこの相談が多いのか、いろいろ調べてみましたがよく分かりません。ところが相談者に反対に、なぜ口から産むと信じておられたのか、たずねてみました。答えは充分納得できるものでした。つまり繁殖シーズンになるとマムシが人をよく咬むのは牙を折るためであって、牙を折れば口からも子供を産みやすいという論理です。なるほどと、考えさせられてしまいました。



§ 動物の物忘れ

動物も年をとれば、それ相応にいろいろな障害がでてくるものです。例えば視力の減退、歯の磨滅、脱落、四肢の筋力の衰えなど人間と少しも変わりありません。ところで物忘れはあるのでしょうか。我々もこの点については確答できませんでした。ところが先日、13年も飼育しているという九官鳥の相談を受けました。九官鳥を10年以上も飼育しているのは長生きの部類に入りますが、この九官鳥が以前は15も言葉がしゃべれたのに最近ではオハヨウとか、2、3の言葉しかしゃべれなくなったというものです。やはり動物にも物忘れというのがあるのかもしれないね。

§ 無精卵をいかにふ化させるか

同じく九官鳥の話題。九官鳥が卵を産んだのですが珍しいことですか、という問い合わせは年に数件ほどあります。時には新聞社からもわざわざたずねてきます。九官鳥の卵は水色の美しい卵で、産卵自体は珍しいことでもないのですが、それがかえったとなれば大変珍しいことです。というより、日本では多分まだ九官鳥の繁殖は記録されていないはずで、というも九官鳥は言葉を覚えさせるため1羽だけで飼育する場合がほとんどです。これではなかなか繁殖も望めないわけです。

ところである日、1人の九官鳥の飼主から電話がかかってきました。卵を1ヶ産んだがどうしたらよいかということでした。産卵は時にあるが、卵はきれいだから標本にでもされたらと言いますと、どうしたらこの卵はふ化するのですかとたずねられました。1羽だけで飼育しているからその卵は無精卵であたためてもダメですと言っても、ふ化方法、ふ化温度、あげくの果てにはヒナ(ふ化した場合)の育て方までたずねられ、根負けしてしまいました。本当に繁殖させたいのならオスを一緒に飼わなければならないと言ってもガンとして譲らず、ガンパッテミマスと言って電話は切れました。

きっと自分の愛鳥の産んだ美しい卵をただ標本で終らせることなく、ヒナの誕生を夢見ていたのでしょうか。

§ 越境紛争

ネコは糞を決まった場所にしますが、この習性を利用して室内にネコ用トイレを置けば、そこでうまくしてくれます。外でも、糞、尿のする場所は決まっていることが多いようですが、その場所がよその家の庭なら非常に大問題という話です。

隣家のネコが毎日のように我家の庭に入って来て、糞はするし尿はするしで、どうしたらいいかという相談を受けました。一度そこに匂いがしみこむと、そこを自分のナワ張りとして度々そこでするから、その場所の土の入れ替えとクレゾールなどの臭気の強い薬品でも撒布してみてもはとすすめました。ところが1週間後、効果はほとんどなく、植木鉢はひっくり返し爪とぎはするし、ますますひどくなってきたという連絡を受けました。隣家の飼主に忠告してみてもと言いますと、たかがネコぐらいで近所付き合いにヒビを入らせたくないし、かといって御主人は大切にしていた盆栽が傷つけられ、今にも隣家にどなりこみそうだとその奥さんはオロオロ。さあ大変です。たかがネコぐらいでも殺人事件の起きる昨今、ない知恵をふりしぼって考えました。ネコは音のなるものや目まぐるしく動くものをいやがるので、風車の大きなものを数ヶ所に置いてみてはとすすめました。ネコが反対に好奇心でも持ったらオシマイですが……。数日後、ネコはピタリと来なくなりましたとの連絡を受け、ホッとしました。しかし風が吹かないと無用の長物だけに、どうなることやら。



§ 江戸家ものまね

動物相談の中で一番困る質問が動物の鳴声についてです。「アシカとテナガザルの鳴声は」「ライオンのうなり声は」「クジャクはどんな声をだしますか」、まだこのあたりですと我々もその気になって送話器に向かって、アッアッアッとかウォーとか言えるのですが、「ライオンとトラの鳴声はどのようにちがいますか」「ウサギとラクダとゾウの声は」……さあ、困りました。ものまねの名人でもないだけに、我々もとても声に出して教えるわけにはいきません。「キリンは鳴きますか」……キリンも鳴くようですが、動物園に長く勤めている人でもほとんど聞いたことがないくらい、めったに鳴声を出さない動物です。

「ライオンの鳴声はウォーと書くのがよいか、ウォーがよいか」……もうどうしようもありません。そもそも鳴声を文字に表わすこと自体がまちがいのですから。それにしても年間10数件は鳴声相談がありますが、我々にとっては頭の痛い相談です。

しかし動物相談は我々でもびっくりするような突飛な質問もあり、常識、非常識を踏まえて、いかに回答を導き出すかということで、非常に勉強にもなり、励みにもなります。今後共、がんばって相談を受けていきたいと思っています。



(飼育課:宮下 実)
(イラスト:松山 浩実)

北米通信員だより ⑨

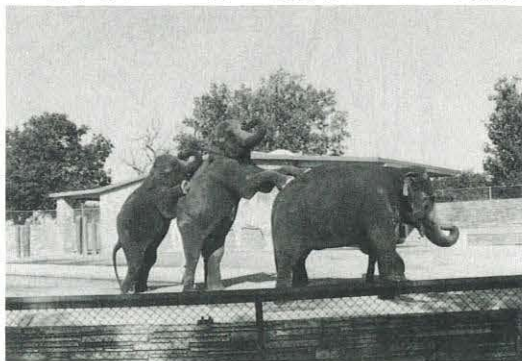
☆ タルサ動物園ボランティアズのこと

3度目のタルサ動物園訪問は今迄接触の機会がなかった同園のドーセント（教育ボランティア）の活動と運営を取材する目的でした。同園次長の川田健氏のお宅に泊めていただいて2日間動物園に通ったところ地味ながら地域の必要に根ざした教育事業の実体をいく分とも知ることができましたので報告します。まずこの**Docent Council** は8年の歴史を



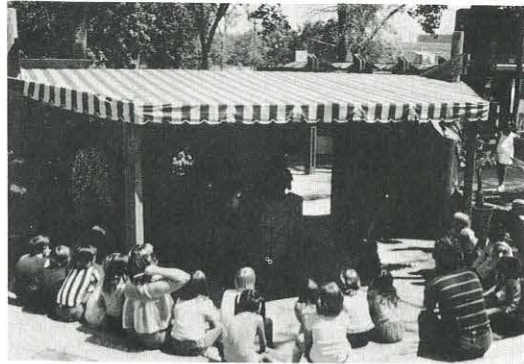
川田 健氏：動物病院手術室にて

もち、会員数は現在40数名、そのほとんどが子供に手の離れた家庭の主婦達でした。活動は多くが個人単位でなされ毎日何かが行なわれていると言えるでしょう。私が今回見ることでできたものは、予約による園内のガイドツアー、ゾウの芸の説明、野外劇場を使つての動物の話ですが、その他動物やスライドを学校に持参して教室で教えること、サマー・スクール、市内の少学4年生を学校ごとに動物園と市の自然保護センターに招いて教える環境学習会などが行なわれています。ゾウの芸というのは危機管理の必要性から日常からゾウを訓練しておくことの副産物（公開訓練）で、サーカスの曲芸とは異質のものです。毎日、午前と午後の2回、約30分で、何らかの意味をもった10通りの姿勢をアジアゾウ3頭(雄



アジアゾウの訓練

1、雌2) にさせてこれを観覧にも供しています。この際ドーセントがゾウに各姿勢をさせることがどのような時に役立つかを混じえてマイクロフォンを使ってやさしく一般観客に説明します。すでに説明には原稿が用意されており、初心者の方はこれを棒読みするようです。このような原稿は、近年あらゆる活動のものが準備され、慣れない人達の便宜に供しています。ちなみに毎週行なわれている早朝のゾウの爪切りも舎内に入って見せていただきましたが訓練は見事にいきていました。子供動物園の野外劇場での活動も毎日、ゾウの芸のすぐ後、同じドーセントにより行なわれるのが通例で、コンゴウインコなど特別に慣らされた動物を前に観衆（主に子供達）との対話を通して様々なことを教えるを試みています。動物に触れさせることも、このプログ



ドーセントの活動風景

ラムでよくなされるようです。園内の案内（昨年1年間に93件）では有名な北米生態館を指定してくる団体がふえていると聞きました。

新会員のためには春・秋の年2回、2ヵ月間計16回にも及ぶ講習が園のスタッフにより行なわれています。運営では16人の役員が置かれ、毎月の例会がもたれ、規約等も外見上我々のものとさほど変わりがないように見うけられます。活動状況は月刊の機関紙、年刊の報告書で詳説されています。教育課にはふつう2人の職員がおられ、教育活動計画の編成、ドーセントとの意見調整、教材の作成等の仕事をしておられます。2日間の取材中、昨年入会の話術のたくみな**Dobson** 夫人と、最古参の1人で世界中の160もの園館をまわったとおっしゃる副会長の**Gallona** 夫人に別々の機会にお話を伺いましたが、共に「わが町の動物園」への愛情がひしひしと伝わってくるのが私には感じられました。（おわり）

（大阪動物園ボランティアズ：富樫史朗）

訂正：4月号で、タルサ動物園で昨年10月に行われたゾウ飼育研究会の参加人数が14園18人とありましたが54園58人の誤りでした。慎んでお詫び申し上げます。（筆者）

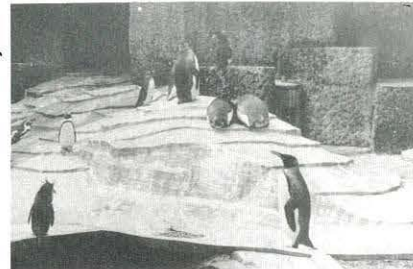
動物園ニュース

§ ボイラー火入!!

寒さに弱い動物のために毎年10月初めから翌年の5月中頃まで約8ヶ月にわたって暖房をしますが、今年も例年どおり10月1日に火入れ式が行なわれ、ボイラーの運転が開始されました。寒い冬も類人猿舎が約20℃、カバ舎が約15℃、ハ虫舎が約25℃にそれぞれスチーム暖房されます。この期間中、動物たちの暖房に約148キロリットルの重油が使用される予定です。

§ ペンギン移動!!

秋風が吹き、ペンギンたちの大好きな冬が近づいた10月13日に、ペンギンたちが冷房室から屋外の展示場に移動しました。キングペンギン5羽、ジェンツーペンギン4羽、イワトビペンギン6羽、マカロニペンギン1羽の合計16羽のペンギンたちは、ひさしぶりに吸う外の空気にとでもうれしそうでした。来年5月中旬まで、屋外の展示場で展示されます。



§ コウノトリ来園

10月14日、コウノトリの雌が、神戸市立王子動物

誕生のニュースをお知らせしたいものです。

§ 上海動物園よりクロオオカミ来園

上海市との第4次動物交換として10月31日にクロオオカミ1番が来園しました。午前11時40分からオオカミ舎前で交換動物歓迎会が行なわれました。上海市からは上海市動物園副主任張詞祖氏、緑化専門技師の湯豊祥氏、獣医師の華宝發氏の3氏が出席され、大阪市側からは大島市長、橋本園長らが出席し行なわれました。返礼として来春中国に送られるマントヒヒ1番とアシカ1頭の目録が大島市長より張氏に手わたされました。

来園したクロオオカミは雄が“平平”、雌が“義義”といい、共に上海動物園で昨年3月26日に生まれたものです。クロオオカミはチュウゴクオオカミの自然変異種で珍しいもの

ですのでぜひ繁殖を成功させたいものです。

なお3名の上海動物園の方々は11月3日まで滞在され、京都、神戸などを熱心に見学され、無事帰国されました。

§ 新着動物

くらしを彩るショッピング



◎ 近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

北米通信員だより ⑨

☆ タルサ動物園ボランティアズのこと

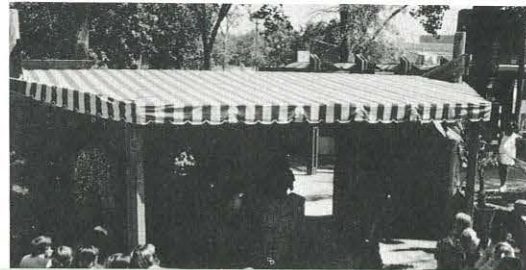
3度目のタルサ動物園訪問は今迄接触の機会がなかった同園のドーセント（教育ボランティア）の活動と運営を取材する目的でした。同園次長の川田健氏のお宅に泊めていただいて2日間動物園に通ったところ地味ながら地域の必要に根ざした教育事業の実体をいく分とも知ることができましたので報告します。まずこのDocent Council は8年の歴史を



川田 健氏：動物病院手術室にて

もち、会員数は現在40数名、そのほとんどが子供に手の離れた家庭の主婦達でした。活動は多くが個人単位でなされ毎日何かが行なわれていると言えるで

1、雌2)にさせてこれを観覧にも供しています。この際ドーセントがゾウに各姿勢をさせることがどのような時に役立つかを混じえてマイクロフォンを使ってやさしく一般観客に説明します。すでに説明には原稿が用意されており、初心者の方はこれを棒読みするようです。このような原稿は、近年あらゆる活動のものが準備され、不慣れな人達の便宜に供しています。ちなみに毎週行なわれている早朝のゾウの爪切りも舎内に入って見せていただきましたが訓練は見事にいきていました。子供動物園の野外劇場での活動も毎日、ゾウの芸のすぐ後、同じドーセントにより行なわれるのが通例で、コンゴウインコなど特別に慣らされた動物を前に観衆（主に子供達）との対話を通して様々なことを教えるを試みています。動物に触れさせることも、このプログ



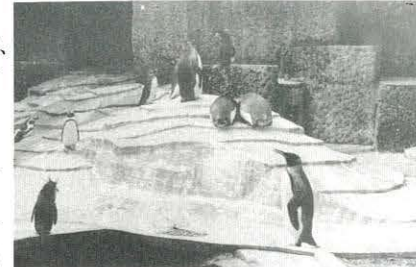
動物園ニュース

§ ボイラー火入!!

寒さに弱い動物のために毎年10月初めから翌年の5月中頃まで約8ヶ月にわたって暖房をしますが、今年も例年どおり10月1日に火入れ式が行なわれ、ボイラーの運転が開始されました。寒い冬も類人猿舎が約20℃、カバ舎が約15℃、ハ虫舎が約25℃にそれぞれスチーム暖房されます。この期間中、動物たちの暖房に約148 キロリットルの重油が使用される予定です。

§ ペンギン移動!!

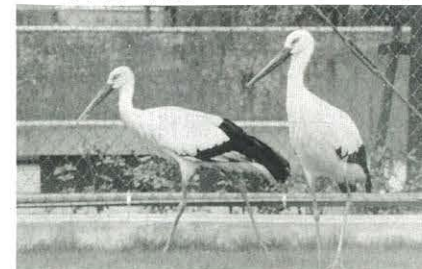
秋風が吹き、ペンギンたちの大好きな冬が近づいた10月13日に、ペンギンたちが冷房室から屋外の展示場に移動しました。キングペンギン5羽、ジェンツーペンギン4羽、イワトビペンギン6羽、マカロニペンギン1羽の合計16羽のペンギンたちは、ひさしぶりに吸う外の空気にとでもうれしそうでした。来年5月中旬まで、屋外の展示場で展示されます。



§ コウノトリ来園

10月14日、コウノトリの雌が、神戸市立王子動物園から来園しました。昭和53年に中国の上海動物園より来園した番のうち、雌は惜しくも今年の7月2日に卵性腹膜炎のため死亡しました。その後、適当な雌を入手したいと思っていましたが、何分にも全国で3つの動物園に9羽しか飼育されていない貴重な鳥のため入手が困難であると思われました。しかし、この度王子動物園の御好意で無期限で雌1羽をお借りすることになりました。当園では今年3月に佐世保市亜熱帯動植物園からお借りしたオセロットに続く2例目のプリーディングローン（繁殖のための貸し出し）となりました。

王子動物園より来園したコウノトリは昭和50年に東シナ海の洋上で船舶に保護され、文化庁の依頼で王子動物園で飼育されてきたものです。



さっそく当園の雄と同居させましたが、心配された闘争もなく、折合はなかなかよいようです。コウノトリは日本では野生での存続が絶望となった現在、飼育下での繁殖をぜひ繁殖させたいものです。この新しい夫婦に来年春、ヒナ

誕生のニュースをお知らせしたいものです。

§ 上海動物園よりクロオオカミ来園

上海市との第4次動物交換として10月31日にクロオオカミ1番が来園しました。午前11時40分からオオカミ舎前で交換動物歓迎会が行なわれました。上海市からは上海市動物園副主任張詞祖氏、緑化専門技師の湯豊祥氏、獣医師の華宝發氏の3氏が出席され、大阪市側からは大島市長、橋本園長らが出席し行なわれました。返礼として来春中国に送られるマントヒヒ1番とアシカ1頭の目録が大島市長より張氏に手わたされました。

来園したクロオオカミは雄が“平平”、雌が“義義”といい、共に上海動物園で昨年3月26日に生まれたものです。クロオオカミはチュウゴクオオカミの自然変異種で珍しいもの



ですのでぜひ繁殖を成功させたいものです。

なお3名の上海動物園の方々には11月3日まで滞在され、京都、神戸などを熱心に見学され、無事帰国されました。

§ 新着動物

10月3日にレンジャクバト2羽、フサホロホロチョウ3羽が、また10月5日にはシマシャコ3羽、アカハシハジロ2羽、ウスズミハッカク2羽の寄付がありました。

レンジャクバト、フサホロホロチョウ、シマシャコは9月16日に寄付されたコジュケイと共に10月10日からキジ舎に展示されました。

また、アカハシハジロは、今年当園で繁殖したアカハシリウキュウガモ4羽とアメリカオシ1羽と共に10月7日から水禽放養舎にお目見えしました。

休園日のお知らせ

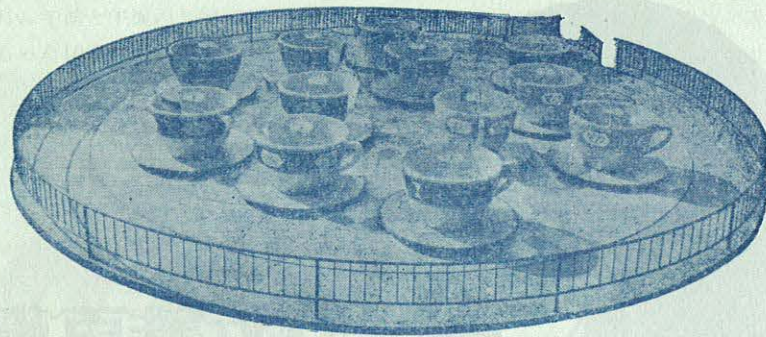
動物園の休園日は毎月第3月曜日です。来年1月までの休園日は下記の通りです。

10月19日(月)、11月16日(月)、12月21日(月)。
年末年始は、12月29日～1月1日まで休園いたします。開園時間は、9時半から5時までで、4時に切符売止めになります。

現在の飼育動物数 (1980年9月30日現在)

哺乳類	102種	364点
鳥類	223種	805点
爬虫類	46種	98点
計	371種	1267点

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娯楽 株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和56年11月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

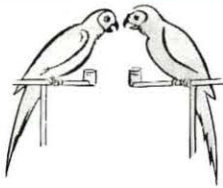
第17巻 第11号(通巻195号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

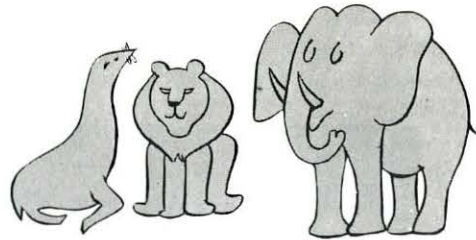
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話(078)221-8195・221-1517
電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル